
「浅沼組が協力会社協働による 作業所生産性向上策 表彰式・発表会を開催」

株式会社浅沼組（本社：大阪市、代表取締役社長 浅沼誠）は、10月28日に第4回となる「協力会社協働による作業所生産性向上策 表彰式・発表会」を開催いたしました。

この取り組みは、浅沼健一前社長の「浅沼組が将来にわたり持続的成長をするためには、共に作業所で働く協力会社様からの生の声を聞き、知恵を出し合うことが不可欠」という考えから、2017年度より始めた協力会社で構成される弥生会と当社による定期的な意見交換会から生まれた取り組みのひとつであり、また当社の中期3ヵ年計画においても「協力会社との協働による生産性向上」を施策として掲げております。

表彰式・発表会の開催に先立ち、生産性向上委員会 高見錦一副委員長より以下の挨拶がありました。

（高見錦一副委員長 開会の挨拶要旨）

各賞を受賞されました協力会社の皆様、社員の皆様、素晴らしい生産性向上策、本当にありがとうございます。そして、おめでとうございます！ 常々わたし自身も、作業所の生産性を向上させるためには、協力会社様との協働により作業所独自で発案した取り組みやアイデアを実施すること、さらにはそれらを収集して会社全体に水平展開することが、非常に有効だと考えています。一方、本年度は、2021年度からスタートした中期3ヵ年計画の2年目であり、ちょうど折り返し地点に差し掛かっています。基本方針として【浅沼組らしさ（独自性）を深耕させ「変化に挑戦】を掲げ、様々な取り組みに挑戦中ですが、わたしはこの生産性向上策や創意工夫策こそが、浅沼組らしさ（独自性）を深耕させるための大きな柱のひとつだと確信しています。

本日の発表会を一つのきっかけとして、今後も更に、作業所で共に働く協力会社さまと知恵を出し合っていたいただき、より沢山の生産性向上策や創意工夫策が集まることを祈念しています。

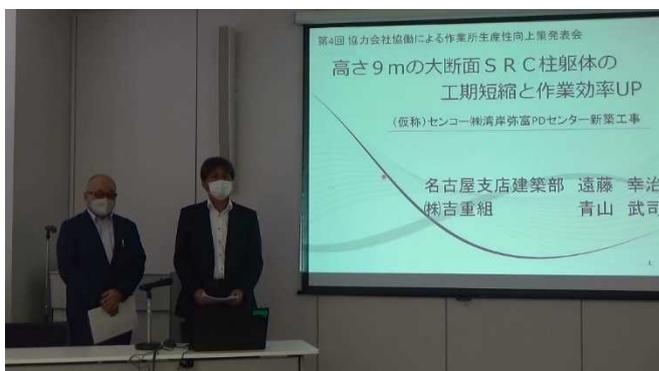
この表彰式・発表会では、広く募集した当社の各作業所における生産性向上策の中から、社員投票及び審査によって選考された社長賞3編と優秀賞2編が表彰され、その後、受賞した5演題（後掲）の発表がありました。発表会では、費用対効果を踏まえた施工の効率化・品質確保など、生産性の向上には新技術への対応だけでなく、改善の意識と創意工夫の重要性などが共有できたと考えています。



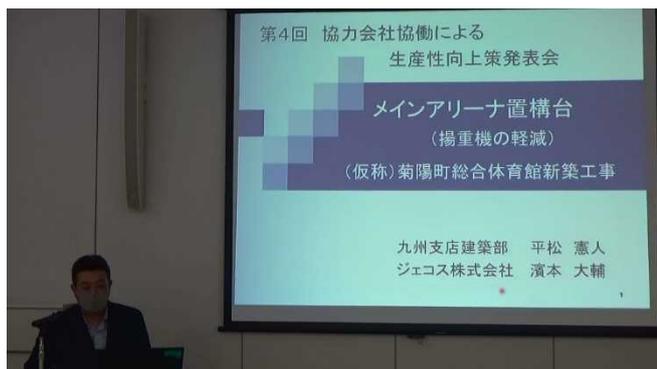
開会の挨拶



表彰式 (左：大阪、右：東京)



社長賞3編の発表



優秀賞2編の発表

○ 発表演題

発 表 演 題	
1 (社長賞 1)	「駅構内におけるかみ合わせ鋼板使用と鋼板の分割及び運搬の工夫」 JR 大阪耐震 R2 作業所 協力会社：ボンドエンジニアリング株式会社
2 (社長賞 2)	「高さ 9 mの大断面 SRC 柱躯体工事の工期短縮と作業効率 UP」 (仮称) センコー(株)湾岸弥富 PD センター新築工事 作業所 協力会社：株式会社吉重組
3 (社長賞 3)	「地中障害撤去とアースドリル杭の同時施工による生産性向上」 (仮称) 上野二丁目ホテル計画新築工事 作業所 協力会社：東洋テクノ株式会社
4 (優秀賞 1)	「メインアリーナ置構台設置 (揚重機の軽減)」 (仮称) 菊陽町総合体育館新築工事 作業所 協力会社：ジェコス株式会社
5 (優秀賞 2)	「高層マンションの MB 内配管支持について」 タワー・ザ・ファースト伏見 (R3) 作業所 協力会社：稲垣設備工事株式会社

お問合せ先

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 3 丁目 24 番 1 号

株式会社浅沼組 技術研究所 立松 和彦

TEL 072-661-1622 (直通) FAX 072-661-1730

E-mail: tatematsu-kazuhiko@asanuma.co.jp